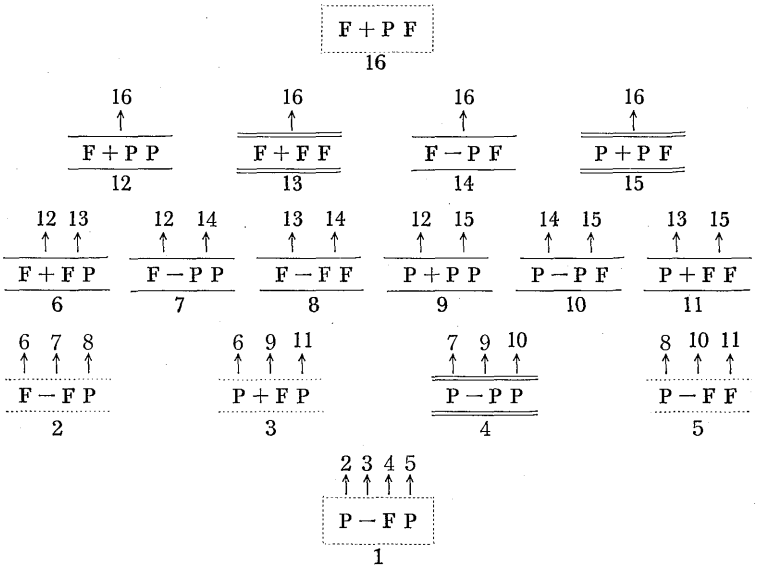

表 1．イネ科の胚の形式を Reeder 氏の表記に従って示し，前川の考える形態進化の可能な序列に沿って配置した関係図，詳しくは文中の説明を見られたい。なお破線でかこみ，又ははさんだ型は今のところ発見されていないもの。実線のは実在，二重線のは実例の多い群，矢印とその上の番号は，その番号の型へ進化して行くことができることを示す。　　(東京大学理学部植物学教室)

○トサムラサキの一新品（外山三郎） Saburō TOYAMA : A new form of *Callicarpa shikokiana*

肥前（長崎県）五島列島中の福江島の父岳・翁頭山・七岳などには，トサムラサキ *Callicarpa shikokiana* Mak. (*C. yakusimensis* Koidz.) を産する。特に父岳には，多産地がある。そして，翁頭山のふもとの二里木場のものには，多くの白花の個体を混ずる。この純白品には，すでに早く，井関竹次・高橋貞夫・植松庄寿などの諸氏が気づいていた。私も先日，これを現地に確認した。これにシロバナトサムラサキの名を与えたい。　　(長崎大学教養学部)

Callicarpa shikokiana Makino f. **albiflora** Toyama, f. nov. Flores albi.

Nom. Nipp. Shirobana-tosamurasaki (nov.)

Hab. Kyŭsyŭ. Prov. Hizen, Insula Hukuezima, Mt. Ohwtōzan (S. Toyama, 20. July. 1964—typus in Biological Inst., Faculty of Liberal Arts, Nagasaki University, Nagasaki).